

つなげているのは世界
支えているのは社会

4Q

2025年9月期 財務ハイライト (連結)

POINT

1

バルブ事業では国内の複数の原発における定期検査工事案件や中国などの海外顧客向けの製品の売上が計上され、製鋼事業では主要顧客等への売上が好調ではありましたが、バルブ事業で原発関係の売上が好調だった前年同期に及ばず、売上高は減少。

2

バルブ事業では好調な受注に伴う棚卸資産の増加等ありましたが、採算の良い原発向けのメンテナンス工事に係る売上が大幅に減少したことや受注損失引当金の繰入が生じたことが大きく影響し、売上総利益以下の各利益は前年同期に比べ減少。

売上高

10,183 百万円

前年同期比 9.2% 減

営業利益

595 百万円

前年同期比 42.0% 減

経常利益

724 百万円

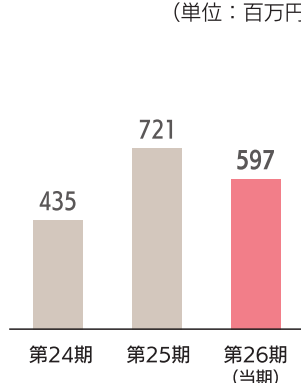
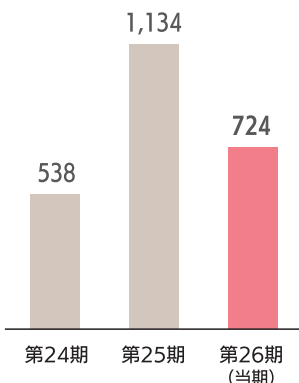
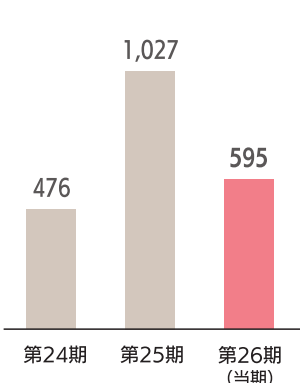
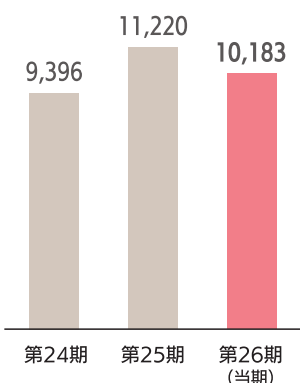
前年同期比 36.1% 減

親会社株主に帰属する当期純利益

597 百万円

前年同期比 17.2% 減

(単位：百万円)



2026年9月期の見通し

売上高

10,500 百万円

前期比 3.1% 増

営業利益

700 百万円

前期比 17.5% 増

経常利益

750 百万円

前期比 3.5% 増

親会社株主に帰属する当期純利益

520 百万円

前期比 13.0% 減

配当について

第26期の期末配当につきましては、
1株当たり20円とさせていただきます。

年間
40円

● 詳細な財務情報は、
当社ホームページをご覧ください
<https://www.toavalve.co.jp/>





株主の皆様へ



事業発展に向けた拠点の新設で、 新たな道を切り拓く

株主の皆様には、日頃より当社グループをご支援いただき、厚く御礼申し上げます。当期（第26期・2025年9月期）の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

既にご承知のとおり当期の決算は、主要な事業であるバルブ事業では、関西電力高浜原発、大飯原発及び美浜原発、四国電力伊方原発や九州電力川内原発及び玄海原発において定期検査工事が完了し売上が計上されたほか、海外顧客向けに製品の売上也計上され、また、製鋼事業においても主要顧客への売上が順調に推移しましたが、バルブ事業の工事に係る売上が好調だった前年同期には及ばず、全体の売上高は101億83百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

採算面では、前年同期に比しバルブ事業で大幅な減収となったこと、受注損失引当金の繰入が生じたことなどから、営業利益は5億95百万円（前年同期比42.0%減）、経常利益は7億24百万円（同36.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億97百万円（同17.2%減）となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境や所得環境の改善などを背景として景気は緩やかに回復いたしました。一方、海外におきましては、ウクライナや中東を巡る地政学的な要因による資源価格の高騰や中国経済の減速などにより景気の悪化が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当期の期末配当につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。当社の利益配分は、経営資源の最適配分による効率的な活用で最大限

の利益を生み出し、安定した配当を実施することを基本方針としており、株主様に長期・安定的に株式を保有いただけるような配当政策を実施しております。株主の皆様のご理解をいただければと考えております。

さて、当社グループでは中期経営計画2023に基づく事業戦略推進の一環として、2024年11月のプレスリリースで開示いたしましたとおり、若狭地区におけるバルブ事業の継続と更なる発展、原発の廃止措置から生じるクリアランス金属のリサイクルを主とするリファインメタル事業の推進などを目的とした製造拠点を新設するため、2024年12月に福井県おおい町の土地を取得し、安全弁事業で使用する第1工場の建設のためプロジェクトチームを組成し着工に向け設計などの取組みを進めております。リファインメタル事業で使用する第2工場の建設につきましても引き続き検討を行います。

また、2025年3月のプレスリリースで開示いたしましたとおり、BCP対策並びに工場機能の充実及び研究開発機能の強化を目的として、2025年6月に神戸市よりポートアイランドの土地を取得いたしました。当社グループとしましては、今後も中長期での持続的成長を図り、企業価値の一層の向上を図ってまいります。

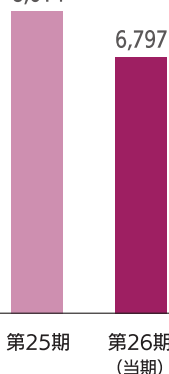
株主の皆様におかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月
代表取締役社長 奥井 一史

4Q セグメント別の概況

バルブ事業

売上高推移
(単位：百万円)



売上高 **6,797** 百万円

セグメント利益 **1,237** 百万円

国内の原発に係る定期検査工事で中国の原発向け安全弁などの海外顧客向けの製品の売上が計上されましたが、前年同期の売上には及ばず、売上高は67億97百万円（前年同期比15.2%減）となり、セグメント利益は、大幅な減収が影響し12億37百万円（同36.1%減）となり、前年同期に比し減益となりました。

製鋼事業

売上高推移
(単位：百万円)



売上高 **1,471** 百万円

セグメント利益 **△ 41** 百万円

水処理設備に関する製品の売上が計上されたほか、主要顧客への売上が好調に推移した結果、売上高は14億71百万円（前年同期比20.8%増）となり、セグメント利益は、電力の単価の上昇や修繕費の増加等はあったものの、前年同期に比し増収となったことや好調な受注に支えられたことにより、41百万円の赤字（前年同期は1億77百万円の赤字）となり、赤字幅は大幅に縮小いたしました。

TOPICS 01 水素発電用バルブの開発

カーボンニュートラル化社会の実現に向け、産業界においてCO₂削減のための取組みが加速しており、火力発電においては石炭からアンモニアや水素への燃料転換が必要不可欠になっています。

水素は地球上に存在する原子で最も小さいことから、金属材料に侵入し劣化させる水素脆化を伴うことがあり、取扱いには十分注意を図る必要性があります。

当社においても火力発電所の新燃

料転換に伴い、特に水素においてはその適合性を確認する必要があるため、金属材料や流体の漏洩を防ぐ機構であるシーリング材の検証を含めバルブの開発に取り組んでおります。

この度、水素50%混焼検証試験で使用される水素用燃料供給ラインにおいて、水素ガスによる外部漏洩及びシート漏洩性能のための検証試験を経て、当社で初となる水素発電用バルブ製品として納入いたしました。納入後、水素50%混焼試験を無事達



成できたとの情報を得ており、今後もカーボンニュートラル化社会の実現に向けて貢献してまいります。

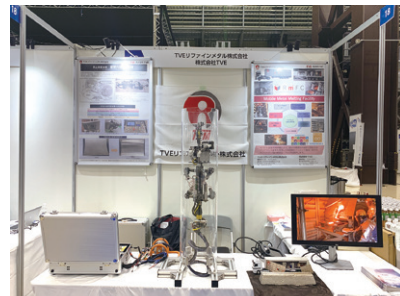
TOPICS 02 福島廃炉産業ビジネス総合展2025に出展

2025年10月24日に、福島県双葉郡にある櫛葉遠隔技術開発センター（NARREC）にて福島廃炉産業ビジネス総合展2025が開催されました。

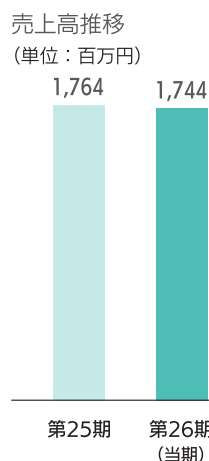
本展示会は、福島県主催で行われる廃炉等関連産業の育成、集積を図ることを目的とする国内唯一の総合展示会で、当社と子会社であるTVEリファインメタル株式会社の共同で

出展しました。

42団体が参加しロボット等の実演をする中、当社ブースでは、グループで共同開発したクリアランス金属の再利用に向けたモバイル金属溶融設備、廃炉に活用が期待される配管内除染装置、タンク内を清掃する水中ROV(Remoted Operated Vehicleの略称。)を実演しました。

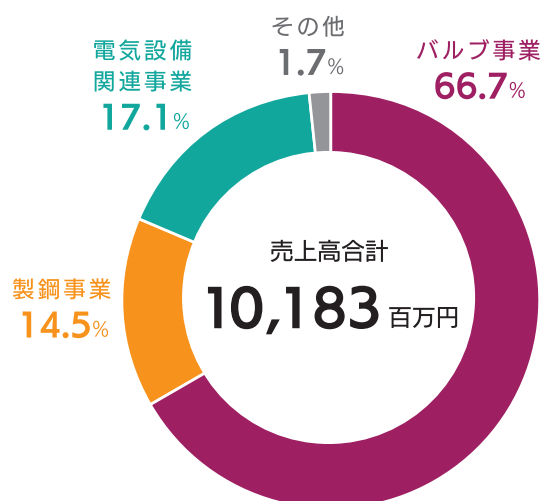


電気設備関連事業



売上高 **1,744** 百万円
セグメント利益 **302** 百万円

公共施設における電気工事や発電所における設備の保守点検作業などに係る売上が計上されたものの、前年同期の売上には僅かに及ばず、売上高は17億44百万円(前年同期比1.1%減)となり、セグメント利益は、請負工事の減少に伴う原価の減少などがあったものの、受注損失引当金の戻入額の減少などから3億2百万円(同6.1%減)となり、前年同期に比し減益となりました。



会社の概況 (2025年9月30日現在)

商号 株式会社TVE
 英文 TVE Co., Ltd.
 証券コード 6466
 所在地 〒660-0054
 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
 設立日 2000年3月16日
 資本金 17億3,955万9,810円
 事業内容 各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売、
 各種バルブのメンテナンス業務
 従業員 300名（連結400名）

株主総会決議ご通知に関するお知らせ

第26回定時株主総会の決議結果につきましては、当社webサイト (<https://www.toavalve.co.jp>) での開示をもちまして決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

役員 (2025年12月23日現在)

監査等委員以外の取締役

代表取締役 奥井 一史
 取締役会長 笹野 幸明
 取締役 飯田 明彦
 取締役 三宅 利幸
 取締役 川上 浩
 取締役 榎村 英孝
 取締役(社外) 原田 英美子

監査等委員である取締役

取締役 田中 博之
 取締役(社外) 浜本 光浩
 取締役(社外) 宮本 文子

株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで
 期末配当金 9月30日
 受領株主確定日
 中間配当金 3月31日
 受領株主確定日
 定時株主総会 毎年12月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 電話 0120-094-777（通話料無料）
 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
 公告の方法 電子公告により行います。
 公告掲載URL <https://www.toavalve.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

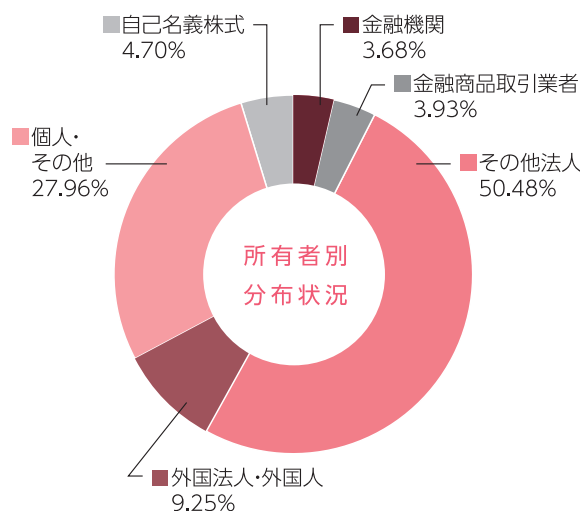
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数 10,040,000株
 発行済株式の総数 2,461,600株
 株主数 1,552名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
西華産業株式会社	505,400	21.54
株式会社UH Partners 2	183,700	7.83
株式会社UH Partners 3	177,700	7.57
光通信株式会社	171,400	7.31
株式会社エスアイエル	123,700	5.27
TOA取引先持株会	101,500	4.33
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	60,600	2.58
INTERACTIVE BROKERS LLC	59,942	2.56
株式会社SBI証券	55,492	2.37
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	32,300	1.38

※当社は自己株式115,665株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。



「配当金領収証」で配当金をお受け取りになられている株主の皆様へ

配当金の口座振込制度のご案内

配当金のお受け取り方法を銀行等や証券会社の口座へ入金する方法にご変更いただくことで、配当金支払開始日にご指定の口座に振り込まれ確実に配当金をお受け取りいただけます。

お手続き・お問い合わせについて

1 証券会社などの口座にて株式を管理されている場合	お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
2 特別口座にて株式を管理されている場合	三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

ご注意

配当金支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができなくなります。お受け取りになられていない配当金がある場合は、お早めに株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）へご連絡ください。